

令和5年度 2学期学校評価

伊予市立中山中学校 令和5年12月アンケート実施

【評定の基準】
 A 目標を達成
 B おおむね達成
 C あまり達成できていない
 ※ 各評価資料の結果をもとに総合的に判断する。

【アンケートの評価基準】
 ◎ 8割以上が肯定 ○ 6割以上が肯定 △ 6割未満が肯定
 【アンケート】
 1 よくできている 2 大体できている 3 あまりできていない 4 できていない 5 わからない

項目	小項目 (重点目標)	評価指標及び目標値	評定	学校による考察・改善方策	評価資料	アンケート結果(%)					1,2の割合 (%)	評価	平均	1学期	昨年度 比較		
						1	2	3	4	5							
教育課程と学習指導	教育課程の編成と実施	年間指導計画を定期的にチェックし、授業時数の確保と学習指導要領の内容の完全実施に努めている。 目標値：学校教育法に示された授業時数を100%達成	A	調整しながらカリキュラムを組んでいったが、2学期は学校行事や出張が多く、授業時数が少ない教科がある。年度末までの予定を計画的に立て、授業時数の確保と学習指導要領の内容の完全実施を達成していく。	時数集計票												
					*別紙にて報告												
	確かな学力の定着と向上	授業を改善し、わかる授業、興味をもてる授業を展開している。 目標値：教職員、生徒の80%以上が肯定	A	1学期評価を受けての改善策を継続して行う。 ・OJT研修で相互の良い点を取り入れた授業実践に励む。 ・研修で学んだことを実践する。 ・低位の生徒にも分かる場面を授業内で設定する。 ・生活との関連を持たせたり、生徒の思考の流れを予想したりした授業展開をする。	教職員アンケート①	16.7	83.3	0.0	0.0	0	100	◎	96	90	8		
					生徒アンケート①	50.0	42.9	7.1	0.0	0	92.9	◎					
		朝ドリル・補充学習・個人指導を充実させ、一人ひとりに応じたきめ細かな学習指導がなされている。 目標値：教職員、保護者、生徒の80%以上が肯定	A	朝ドリルや補充学習を継続して行うとともに、低位の生徒については学習内容を個別に示すなどの対応をする。 ・小テストの状況に応じた個別指導をする。 ・学習の理解度に応じて与える課題を精選するなど、個に応じて丁寧に指導をする。	教職員アンケート②	28.6	71.4	0.0	0.0	0	100	◎	89	85	3		
					保護者アンケート①	26.9	50.0	7.7	0.0	15.4	76.9	○					
					生徒アンケート②	53.6	35.7	7.1	3.6	0	89.3	◎					
					家庭学習時間	4時間以上	3~4時間	2~3時間	1~2時間	0.5~1時間	0.5時間未満						
		家庭学習の習慣が身に付いている。 目標値：1年90分以上、2年120分以上、3年150分以上	C	下校後の学習に向かうためのルールをいくつか示す。 ・宿題を多く課すのではなく、その日の学習の復習や翌日の学習の予習として必要なものを全体に課す。 ・学習に余力のある生徒については、さらに取り組める課題を示しておく。 ・学習内容を復習できるように課題を出したり、確実に身に付けるべき基本を確認する小テストを実施し、家庭学習の定着を目指している。 ・各自が購入した「セミナー」を家庭学習に活用させる。	教職員アンケート③	0.0	35.7	57.1	7.1	0	35.7	△	44	55	-16		
					生徒アンケート③	10.7	35.7	46.4	7.1	0	46.4	△					
1学期	0.0				0.0	36.4	40.9	9.1	13.6								
2学期	0.0				3.6	32.1	42.9	10.7	10.7								
適切な量や内容の宿題が与えられている。 目標値：生徒の80%以上が肯定	B	宿題を多く課すのではなく、その日の学習の復習や翌日の学習の予習として必要なものを全体に課す。 ・一日でできない量の課題には余裕を持った提出期日を設定する ・学習に余力のある生徒については、さらに取り組める課題を示しておく。 ・量が多くても、効果的なものであれば、生徒は「適切」と捉えるはず。「ただやらせる」宿題にならないよう、質・内容を吟味する。	生徒アンケート④	35.7	64.3	0.0					○	64	79	-19			
				多い	適切	少ない											
学校関係者評価委員の所見		○家庭学習については、3年生までに先を見据えた指導を行うことで習慣化するように取り組んでほしい。 ○タブレットなどの使用を常時行っていると思うが、家庭学習にもつながらるように指導してもらいたい。 ○家庭学習には、家庭との連携が重要になると思うのでPTAと連携した対策（講演・研修会）を行う必要がある。		学校の対応	生徒が「分かる」「楽しい」と感じる授業展開を目指しており、授業改善を全教職員で取り組んでいる。また、学習アプリの活用事例を参考に課題などを提示するなど、タブレットの有効活用を図りたい。 家庭学習の定着に向けては、家庭との「連携を密にしながら、生徒理解の研修会を実施し、生徒が自ら律しながら学習に取り組むよう家庭とともに指導していきたい。												
生き方を考える教育	心の教育の推進	道徳の時間の指導が充実し、道徳的な実践力が育っている。 目標値：教職員、生徒の80%以上が肯定	A	道徳科の授業では、自己の生き方を見つめる場面を充実させ、終末には「自分事」として、今後の生き方を考えさせる。 ・ローテーション道徳を行うことで、生徒が多様な価値に触れる機会を充実させるとともに、学校全体で指導力の向上を図る。	教職員アンケート⑧	66.7	33.3	0.0	0.0	0	100	◎	95	96	-3		
	生徒アンケート⑨	57.1	32.1	10.7	0.0	0	89.2	◎									
	進路指導	正しい勤労観・職業観等、将来の生き方や進路の適切な選択に向けて、機会をとらえて働きかけている。 目標値：教職員、生徒、保護者の80%以上が肯定	A	進路決定に必要な情報を適宜提供するとともに、「キャリア・パスポート」等を活用することによって、自身の進路を主体的に切り拓こうとする態度を育成する。 ・自らの興味・関心や適性、進路について考える学習を3年間を通して系統的に行う。	教職員アンケート④	40.0	60.0	0.0	0.0	0	100	◎	89	89	11		
	保護者アンケート③	30.8	50.0	11.5	0.0	7.7	80.8	◎									
	生徒アンケート⑤	57.1	28.6	3.6	3.6	0	85.7	◎									
集団づくり	学級にはまとまりがあり、一人ひとりを支えあう雰囲気がつくられている。 目標値：教職員、生徒、保護者の80%以上が肯定	A	学級通信等で、学級の様子(集団としての成長、個々の活躍)を家庭へ伝える。 ・学級内で設定した短期的目標を意識して生活できるようはたらきかける。	教職員アンケート⑤	20.0	66.7	13.3	0.0	0	86.7	◎	83	92	-11			
保護者アンケート④	19.2	50.0	15.4	3.8	11.5	69.2	○										
生徒アンケート⑥	60.7	32.1	7.1	0.0	0	92.8	◎										
学校関係者評価委員の所見		○職場体験活動などでは、種類や期間など生徒の希望に添えるよう努力してもらいたい。 ○関係諸機関と連携して、訪問しての講座などの実施を検討していただきたい。 ○市教委や市商工会議所などに要請するなど、限られた職種しかない地域なので多様な職種に触れる機会を設定することが必要である。		学校の対応	青少年赤十字研究会に関する取組を通して、生徒達は、「表現すること」に対する意識が向上し、多方面で自分の思いを伝える場面が増えた。 進路指導については、1年生で職業調べ、2年生の職場体験活動、3年生で進路選択など、各学年の発達段階に応じた取組や指導を行った。今後は、多様な職業や進路の情報を提示し、生徒が興味深く取り組めるように努めたい。												

生徒指導の充実	気持ちのよいあいさつができて いる。 目標値：教職員、生徒の80%以上 が肯定	A	・まずは教職員が生徒の手本となるあいさつを心掛ける。	教職員アンケート⑥	40.0	60.0	0.0	0.0	0	100	◎	96	96	0	
				生徒アンケート⑦	46.4	46.4	0.0	0.0	7.1	92.8	◎				
	生徒指導の充実	毎日朝食をとり、服装等身だし なみを整え、時間を守るなど基 本的な生活習慣が身につしてい る。目標値：教職員、生徒、保 護者の80%以上が肯定	A	・登校指導の際に生徒の様子を観察し、些細な変化も見逃さず温かい 声掛けを行う。 ・気になることがある際には、家庭と細かく連絡を取り合い、協力体制 を構築する。	教職員アンケート⑦	40.0	60.0	0.0	0.0	0	100	◎	85	91	-9
					保護者アンケート⑤	26.9	46.2	19.2	7.7	0	73.1	○			
					生徒アンケート⑧	39.3	42.9	10.7	0.0	7.1	82.2	◎			
	生徒指導の充実	定期的な教育相談やアンケート の実施などを通して、いじめ・ 不登校の早期発見と早期解消に 努めている。 目標値：教職員、生徒、保護者 の80%以上が肯定	A	・教育相談や学校生活アンケートを実施している様子等をホームペー ジで発信する。 ・日頃より、教員間での情報交換を密に行い、不登校生徒には、全教 職員が一丸となって対応する。	教職員アンケート⑨	66.7	33.3	0.0	0.0	0	100	◎	85	89	-9
					保護者アンケート⑥	11.5	53.8	3.8	0.0	30.8	65.3	○			
					生徒アンケート⑩	71.4	17.9	7.1	0.0	3.6	89.3	◎			
	生徒指導の充実	様々な機会を通じて生徒とわか り、生徒理解に努めている。 目標値：教職員、生徒、保護者 の80%以上が肯定	A	・生徒の肯定率は若干上がっているが、十分に子供の思いを聞いても らえていないと感じている保護者がいるということを謙虚に受け止め、 温かい声掛けを行う必要がある。	教職員アンケート⑩	53.3	46.7	0.0	0.0	0	100	◎	89	91	-6
					保護者アンケート⑦	23.1	46.2	23.1	0.0	7.7	69.3	○			
					生徒アンケート⑪	60.7	35.7	3.6	0.0	0	96.4	◎			
生徒指導の充実	学校のきまりや生活目標が共通 理解され、生徒に対する指導が 徹底されている。 目標値：教職員の80%以上が肯 定	A	・再度「学校生活に関する申し合わせ事項」の共通理解を図り、一貫し た指導となるよう、指導した際には情報交換を確実に進行。	教職員アンケート⑪	46.7	53.3	0.0	0.0	0	100	◎	85	91	3	
				保護者アンケート⑨	15.4	53.8	15.4	3.8	11.5	69.2	○				
生徒指導の充実	先生はすべての生徒に、平等に 適切な指導をしている。 目標値：生徒、保護者の80%以 上肯定	A	・生徒・保護者共に肯定率が向上した。一方で、十分に自分の思いを 聞いてもらえていないと感じている生徒や保護者がいるということを謙 虚に受け止め、丁寧な対応をしていく必要がある。	生徒アンケート⑫	60.7	32.1	0.0	3.6	3.6	92.8	◎	83	77	-7	
				保護者アンケート⑧	15.4	57.7	11.5	0.0	15.4	73.1	○				
生徒指導と安全管理	学校関係者評価委員の所見		○HPや学校便り等で活動の様子を伝えているが、保護者や地域の方が 興味を持つような内容の充実を図っていただきたい。 ○朝食の摂取や睡眠時間の確保には、スマートフォンの利用時間と関 係していると思うので、その利用上のルール等について家庭と連携し て取り組んでもらいたい。	学校の対応		落ち着いた雰囲気です学校生活を過ごすことができ ている。良い生活習慣の定着は、健康づくりだけでなく、 学習習慣の定着にも深いつながりがあり、学校と家庭 が連携して取り組む必要がある。今後、研修会等によ り保護者への啓発を行っていききたい。									
	生徒活動の活性化	様々な体験活動を通して、思い やりや奉仕の心が育っている。 目標値：教職員、保護者の80% 以上が肯定	A	・生徒会活動において、生徒の自発的な清掃活動を継続させることで 生徒の主体性、思いやりや奉仕の心を育てる。	教職員アンケート⑫	53.3	46.7	0.0	0.0	0	100	◎	96	91	1
					保護者アンケート⑩	26.4	65.4	3.8	3.8	0	91.8	◎			
	生徒活動の活性化	学校行事を通して、集団への所 属感を深め、学校生活の充実 につながるよう指導の工夫がな されている。 目標値：教職員、生徒、保護者 の80%以上が肯定	A	・生徒会活動において、縦のつながりを大切にした学校行事や体験活 動の企画を行うことで、集団への所属感を深めさせる。	教職員アンケート⑬	33.3	66.7	0.0	0.0	0	100	◎	95	94	1
					保護者アンケート⑪	30.8	61.5	3.8	0.0	3.8	92.3	◎			
					生徒アンケート⑬	82.1	10.7	3.6	0.0	3.6	92.8	◎			
	生徒活動の活性化	部活動は生徒のために適切に行 われている。 目標値：保護者の80%以上が肯 定	A	・教員間での連携を大切にするとともに、地域人材も効果的に活用し、 生徒にとって充実した活動となるよう工夫する。 ・生徒数の減少傾向を見込み、適正な部活動数の設定や休日の部活 動地域移行への実証事例等を推進していききたい。	教職員アンケート⑭	38.5	53.8	7.7	0.0	0	92.3	◎	81	93	-17
					保護者アンケート⑬	15.4	53.8	7.7	11.5	11.5	69.2	○			
	学校安全の推進	保護者・地域と連携し、地域ぐ るみの安全確保に努めている。 目標値：生徒の80%以上が肯定	A	・生徒、教職員共に学校生活における危機管理能力の向上を目指し、 多様な領域における体験的な研修会を実施する。また、地域で予想さ れる災害(土砂災害)に応じた研修会を充実させたい。	生徒アンケート⑭	85.7	14.3	0.0	0.0	0	100	◎	100	100	4
学校安全の推進	生徒のけが、病気、事故等に適 切に対処しているか。 目標値：教職員、生徒、保護者 の80%以上が肯定	A	・けがや事故が発生した場合に迅速かつ適切な対応を心掛けるととも に、感染症(コロナ、インフルエンザ等)発生時には、学校医と連携を取 りながら感染拡大防止に努めたい。	教職員アンケート⑮	60.0	40.0	0.0	0.0	0	100	◎	95	98	-3	
				生徒アンケート⑮	64.3	25.0	3.6	0.0	7.1	89.3	◎				
学校安全の推進	校内安全点検を定期的実施し、 潜在危険の除去と教育環境 整備に努めている。 目標値：教職員の80%以上が肯 定	A	・日常に潜んでいる危険に対し、教職員でヒヤリハット事例を共有し大 きな事件事故の防止に努める。 ・施設の老朽化があるが、異常箇所等の早期発見に努め、安心安全な 環境整備を行いたい。	教職員アンケート⑯	46.7	53.3				100	◎	100	100	10	
学校関係者評価委員の所見		○部活動の充実については、生徒数の減少の状況も踏まえ先を見通し た部活動数の設定や、地域の指導者の活用などを行っていただきた い。 ○学校安全の推進については、評価も高く現在の取組を継続させなが ら指導してもらいたい。		学校の対応		学校安全については、生徒の意識も高く学校生活で も安全に生活できている。今後は、どのような状況でも 自ら判断できるよう指導していききたい。また、災害によ る被害を最小限に抑えるために、周囲の人と互いに助け 合うことや、地域のために活動することが重要である ことを避難訓練等で学ばせたい。 部活動については、先を見通した環境整備や地域の 指導者と連携しながら、活動の充実に向け取り組んで いききたい。									

教職員の 資質向上	教職員の 資質向上	きもちのよいあいさつができて いる。 目標値：教職員の80%以上が肯定	A	・教職員間、対生徒、対地域の方や来客等、日頃からお互いに気持ちのよいあいさつを心掛け、温かい雰囲気作りに努める。	教職員アンケート⑩	53.3	40.0	6.7	0.0	0	93.3	◎	93	100	-7			
		来校者に対して、適切な対応を 心がけている。 目標値：教職員の80%以上が肯定	A	・今後も、迅速に丁寧な対応を心掛ける。	教職員アンケート⑨	46.7	53.3	0.0	0.0	0	100	◎				100	100	0
		健全な社会人として信頼にたる 教職員となっている。 目標値：教職員、生徒、保護者の 80%以上が肯定	A	・生徒の肯定率が下がった。これは、十分に自分の思いを聞いてもらえていないと感じている生徒がいるからかもしれない。教職員は生徒理解に努めているが、より一層の積極的な声掛けや教育相談など、じっくりと生徒と関わる時間を創出しなければならない。 ・スクールカウンセラー、教育相談員等の外部有識者にも関わっていただき、よりよい信頼関係を構築していく。	教職員アンケート⑮ 生徒アンケート⑮	40.0 67.9	60.0 17.9	0.0 3.6	0.0 7.1	0 3.6	100 85.8	◎ ◎						
開かれた 学校づくり	保護者・地域 との連携	学校の様子や、行事などについて 家庭で話をしている。 目標値：生徒の80%以上が肯定	A	・案内プリントや文書を配付する際には、家庭で話をするきっかけを生むような声掛けを行う。	生徒アンケート⑪	78.6	14.3	3.6	3.6	0.0	92.9	◎	93	88	-3			
		学校の様子や行事などが、学校 だよりなどでよく知らされている。 目標値：保護者の80%以上が肯定	A	・「わからない」と回答する保護者は0%となったが、肯定率が4.3%下がった。朝ドリルや教育相談、進路学習などについて、ホームページや学校便りで機会を捉えて情報を発信する。	保護者アンケート⑫	34.6	50.0	15.4	0.0	0.0	84.6	◎				85	89	-15
		学校、PTA、地域はよく協力 して活動している。 目標値：教職員、保護者の80% 以上が肯定	A	・学校内での活動の様子をHP等で周知すると共に、保護者や地域からの情報を得る方策について検討し、双方向での情報の共有を図る。	教職員アンケート⑳ 保護者アンケート⑭	66.7 23.1	33.3 61.5	0.0 7.7	0.0 0.0	0.0 7.7	100 84.6	◎ ◎						
	学校関係者評価委員の所見		○現在の取組を一層充実させながら、対策を行ってほしい。 ○地域の行事等も減少して、中学生と接する機会も減ってきている。学校でもそのような機会を設定していただくと地域としてもありがたい。	学校の対応	学校行事や部活動、日々の生活の様子などホームページで発信している。また、学校便りでも生活の様子と翌月の行事予定をお知らせしている。 PTA活動については、保護者の方に積極的に参加していただいております。今後も、学校、保護者、地域が連携し、生徒の健全育成に向け教育活動の充実を図ってまいります。													